

東桂保育園の地域連携・地域交流  
社会福祉法人ふれあいの森東桂保育園

都留文科大学環境教育実習指導者養成講座(森のようちえん)  
＜大学生と年長児と共に自然の中で活動する＞



### 1. 目的と経緯

15年前から始まった都留文科大学教養学部地域社学科環境教育実習指導者養成講座(森のようちえん)に年長児が参加して、大学生と一緒に自然体験活動を楽しんでいます。

### 2. 内容

鹿留ふれあいの森や、楽山、ソローの小屋などの自然の中、子どもたちは大学生と共に活動します。何をするのか、決められたプログラムはありませんその季節、その時の自然に興味を惹かれた子ども達の遊びたい、心を動かされたことに大学生がそれを捉え、寄り添う中、活動が広がっていきます。木登りや斜面の滑り降りも大好きで繰り返し挑戦する姿もありました。どんぐり松ぼっくり、きのこ、虫、蛇等自然物さがし、冬には雪だるまづくり、雪合戦、まき割りをしたからの、たき火、冬の寒い日の炎は暖かく心も身体も癒されました。



### 3. 成長と課題

自然体験を通して、子どもたちは五感を使いながら主体的に自然と関わり、好奇心探求心の育ちや意欲的に活動する姿がみられ、特に気持ちを表わせない、大人しい子ども達も解放感を感じ、自然の中ではあるがままの自分をそのまま受け入れてもらえる体験ができました。気持ちの安定、友だち、大学生との発見共有、協力、思いやりや協働性の育ちにも繋がっていききました。大学生との活動の中、もちろん安全性は確保した上で、活動を制限せずに子どもの気持ちに寄り添い、子どもと向き合う姿は指導者を目指した学びとなり、お互い有意義な活動になっています。

しかしながら、今年度で講座が終了となり本当に残念ですが今後は自園でこの体験を生かしながら、活動を続けていきたいと思えます。都留文科大学の高田先生、秦先生、学生の皆さん、たくさんの楽しい体験、たくさんの感動をありがとうございました。